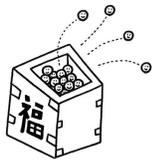


大府 かわら版



個人の



防犯カメラ設置に補助を

市民の声とどけ 市へ県へ

凶悪強盗をはじめ頻発する犯罪。自己防衛をと防犯カメラ設置を考えても費用は大変。公的補助を求める声は切実です。



安全なくらしへ奔走

日本共産党
久永市議

市民の声は

大府市が行っている補助制度で、個人が防犯カメラを設置する場合は対象ではないのですね。防犯カメラのダミーだと補助金が出るのに本物の防犯カメラの設置は対象にならないのは、おかしくないですか？愛知県 conditions に準じているとのことですが、大府市独自で対象を広げて欲しいです。(横根町在住)

市はこれまで、県事業を活用した「市自主防犯活動促進事業費補助金」の対象枠を拡大するなどしてきました。市民の防犯意識も高まるなか、この補助金制度のいっそうの拡充が必要になっていきます。

大府市

補助制度があっても 個人は対象外

大府市の「自主防犯活動推進事業費補助金」とは、犯罪の抑止と市民や自主防犯団体等の防犯対策を推進するため、防犯対策装置を購入、設置した費用の一部を補助するもの。「侵入盗対策」として「センサーライト」の取付け(屋外)、「ダミー防犯カメラ」の取付け(屋外)、「防犯ガラス」への交換、「防犯砂利の敷設(屋外)」などを補助対象としています。ダミーではない本物の防犯カメラ設置は「自主防犯団体等が設置する防犯カメラ」に限られ、個人の設置分

市の補助対象の拡大へ 要望書を届ける

これはおかしいという「市民の声は聞いている」と市。ならば知多市や南知多町のように「市独自の補助対象に市民が設置する防犯カメラを加え、県に家庭用も対象にするよう要望を」と久永かずえ市議は29日、市へ要望書を提出しました。県の制度の拡充が必要となるなか、日本共産党の下奥奈歩県議と連携して、安全なくらしへの市民の願いを県にも直接届けていくことにしています。

市と議会から藤田医科大学病院へ

視察報告

見えてきました！ 手術支援ロボット ダビンチ

昨年12月25日(水)、市長・副市長と市議会議員で藤田医科大学病院の手術支援ロボット「ダビンチ」を視察しました。高度先進医療の推進が目的の「ダビンチ」は同病院が国内で初めて導入。4本の独立したアームの配置などを症例や術式に応じて柔軟に変えられる設計で、ど

の方向からも利用できるため、手術の幅が広がると期待されています。内視鏡手術で傷口が少ないことから出血を抑え患者の負担も軽減される高度先進医療です。同大学の訓練施設では、手術支援ロボットの基本操作や技術を学べます。全国でも限られた訓練施設で、他病院の医師の研修も受け入れています。「ダビンチ」は1台が4億5千万円。維持管理はメンテナンス料として年間2千万円支払えば修繕などが保障されるのが一般的です。市立病院を持たない大府市の「地域医療体制のさらなる充実」に今回の視察がどう生かされるのか、注視していきたいと思えます。



↑病院屋上に配置されるドクターヘリ

病院中庭の防災トイレ

3月市議会の日程が決まりました

- 2月 26日(日) 初日
- 27日(日) 新年度予算案上程
- 3月 5日(水)～6日(木) 一般質問
- 10日(火) 一般質問(開催しない場合も)
- 11日(水) 建設産業委員会
- 12日(木) 厚生文教委員会
- 13日(金) 総務委員会
- 18日(水) 最終日

※開会はいずれも午前9時からです

相談はお気軽に
声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

2月19日(水)午後6時～**無料**

お急ぎの方も、まずは久永議員へ
久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話